

2018.2.18

文部科学省 大学教育再生加速プログラム（高大接続） 千葉大学 次世代才能ステップアッププログラム

第三回 国際研究発表会 with ESD & TWINCLE

※持続可能な開発のための教育 (EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT) 大学の世界版強化力強化事業 ツイン型学生派遣プログラム(TWINCLE)

- 科研部生活科学班、ボルネオ研修、西表島研修のメンバーが**国際研究発表会**に参加。
- ASEANの教員に向けて、**英語**でポスタープレゼンを行いました。



ポスター・マッドネス

発表者全員が30秒で自分のポスターの内容を紹介。科技の生徒は、授業で行なったマッドネスの経験をさっそく活かすことができました。これからはこの形式が主流になっていくのでしょうか！



「大事な**のはコミュニケーション！英語のミスなんて気にするな！**」という開会の言葉が印象的でした。

ポスターセッション

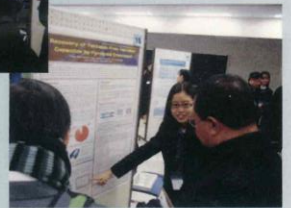
発表と質疑応答をすべて英語で。日本人同士でも英語で質問し合っていました。



インドネシアの方に西表島のことを紹介。熱心に質問してくれました。



タイの学生からSaw U(ソー・ウー)という楽器の弾き方を教えてもらう。楽しみながら国際交流できました。

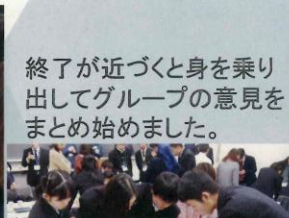


アクティビティ

地球温暖化について他校生やASEANの方と共にグループ討論。英語がうまく伝わらない中、言葉だけでなく、ジェスチャーや筆談を交えてコミュニケーションを取っていました。



まずは温暖化のイメージを絵にして、英語で説明。



終了が近づくと身を乗り出してグループの意見をまとめ始めました。



発表の様子。もちろん、英語です。



楽しかった！コミュニケーションは何とかなる！

でも全然聞き取れないし、言いたいことも英語じゃ全然言えない。(生徒A)

悔しい、というより英語をやらなきゃ本当にやばい、と思った。(生徒B)